

令和6年度 地理歴史科 「世界史探究」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年A・B・E・F組 選択者
教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）

1 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	諸地域の歴史的 特質の形成	○文明の成立と 古代文明の特質	<ul style="list-style-type: none"> 世界史へのまなざし 文明の誕生 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 グループワーク 提出課題 ノート提出 授業への参加
	5			<ul style="list-style-type: none"> 古代オリエント文明 南アジアの古代文明 	
	6			<ul style="list-style-type: none"> 中国の古代文明 南北アメリカ文明 	
			○中央ユーラシアと 東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> 中央ユーラシア 秦漢帝国 	
				<ul style="list-style-type: none"> 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成 	
				第1回考査	
	7	諸地域の歴史的 特質の形成 (続き)	○南アジア世界と 東南アジア世界の 展開	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開 	
	8		○西アジア世界と 地中海周辺の 国家形成	<ul style="list-style-type: none"> イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 	
	9		○イスラーム教の成立 とヨーロッパ世界の 形成	<ul style="list-style-type: none"> アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成 	
				第2回考査	
		諸地域の交流・ 再編	○イスラーム教の伝播 と西アジアの動向	<ul style="list-style-type: none"> イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 	

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後 期	10	諸地域の交流・再編(続き)	○ヨーロッパ世界の 変容と展開	・西ヨーロッパの封建社会 展開と変容 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパの中世文化	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・グループワーク ・提出課題 ・ノート提出 ・授業への参加
	11		○東アジア世界の展開 とモンゴル帝国	・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	
	12		第3回考査		
	1	諸地域の交流・再編(続き)	○大交易・大交流の 時代	・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出と アメリカ大陸の変容	
	2		○アジアの諸帝国の 繁栄	・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	
	3		○近世ヨーロッパ世界 の動向	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ、イギリス、フランスの台頭 ・科学革命と啓蒙思想	
		第4回考査			

3 評価の観点

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。また、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

4 評価の方法

おもに定期考査によって、知識・技能および思考・判断・表現について評価します。主体的に学習に取り組む態度については、グループワークの提出課題、振り返りプリント、また状況に応じてノート提出などによって評価します。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

教科書を中心に、順を追って学んでいきます。共通テストをはじめ、大学入試問題は概ね教科書を土台として作成されますから、授業を大切にし、授業時間内で内容を理解できるように取り組んでください。

経済がグローバル化している一方で政治的・文化的な軋轢がみられる今の国際社会の中で、より良い選択をしていくためには、歴史の素養が必要とされます。単なる暗記だけではなく、興味を持って楽しんで学んでいただけたら幸いです。